

各 位

上場会社名	東京電力株式会社
代表者	取締役社長 清水 正孝
(コード番号)	9501)
問合せ先責任者	経理部連結決算グループマネージャー 五反田屋 信明
(TEL)	03-6373-1111)

## 業績予想の修正に関するお知らせ

最近の業績動向を踏まえ、平成22年4月30日に公表した業績予想を下記の通り修正いたしましたのでお知らせいたします。

記

### ● 業績予想の修正について

平成23年3月期第2四半期連結累計期間連結業績予想数値の修正(平成22年4月1日～平成22年9月30日)

	売上高	営業利益	経常利益	四半期純利益	1株当たり四半期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	2,550,000	100,000	70,000	10,000	7.41
今回発表予想(B)	2,580,000	145,000	110,000	30,000	22.25
増減額(B-A)	30,000	45,000	40,000	20,000	
増減率(%)	1.2	45.0	57.1	200.0	
(ご参考)前期第2四半期実績 (平成22年3月期第2四半期)	2,497,898	240,695	203,958	138,164	102.43

平成23年3月期通期連結業績予想数値の修正(平成22年4月1日～平成23年3月31日)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	5,330,000	160,000	80,000	10,000	7.41
今回発表予想(B)	5,290,000	260,000	170,000	65,000	48.20
増減額(B-A)	△40,000	100,000	90,000	55,000	
増減率(%)	△0.8	62.5	112.5	550.0	
(ご参考)前期実績 (平成22年3月期)	5,016,257	284,443	204,340	133,775	99.18

平成23年3月期第2四半期累計期間個別業績予想数値の修正(平成22年4月1日～平成22年9月30日)

	売上高	営業利益	経常利益	四半期純利益	1株当たり四半期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	2,450,000	85,000	50,000	0	0.00
今回発表予想(B)	2,480,000	130,000	90,000	20,000	14.81
増減額(B-A)	30,000	45,000	40,000	20,000	
増減率(%)	1.2	52.9	80.0	—	
(ご参考)前期第2四半期実績 (平成22年3月期第2四半期)	2,397,886	224,697	174,040	113,423	84.01

平成23年3月期通期個別業績予想数値の修正(平成22年4月1日～平成23年3月31日)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	5,110,000	130,000	60,000	0	0.00
今回発表予想(B)	5,070,000	230,000	150,000	55,000	40.74
増減額(B-A)	△40,000	100,000	90,000	55,000	
増減率(%)	△0.8	76.9	150.0	—	
(ご参考)前期実績 (平成22年3月期)	4,804,469	249,964	158,611	102,311	75.78

※本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により、大きく異なる可能性があります。

#### 修正の理由

連結および個別業績予想につきましては、電気事業において、原油価格の低下や原子力発電の増による燃料費の減が見込まれることなどから、業績予想を修正するものです。業績予想の修正内容などについては別紙をご覧ください。

### 通期の見通し

平成 22 年度の販売電力量については、4～6月の実績を踏まえ、平成 22 年4月に公表した想定値（2,857 億 kWh）を上回る 2,880 億 kWh を見込んでおります。

売上高については、電気事業において、販売電力量が増加するものの、通期の原油価格の見直しに伴い、燃料費調整制度によるマイナス調整額の増加が見込まれることなどから、前回公表した想定値（連結：5 兆 3,300 億円程度、単独：5 兆 1,100 億円程度）を、連結で 5 兆 2,900 億円程度、単独で 5 兆 700 億円程度に変更いたしました。

一方、費用面では、電気事業において、柏崎刈羽原子力発電所 1 号機の発電開始による原子力発電電力量の増加が見込まれることに加え、原油価格の見直しに伴い、燃料費の減少が見込まれます。

これらにより、経常利益は連結で 1,700 億円程度、単独で 1,500 億円程度、当期純利益は連結で 650 億円程度、単独で 550 億円程度に変更いたしました。

### 収支諸元表（単独）

	22年度 (今回見通し)	22年度 (前回見通し)
販売電力量 (対前年度増減)	2,880億kWh (2.8%増)	2,857億kWh (2.0%増)
原油価格(全日本CIF)	77 <sup>ドル</sup> /バレル程度	85 <sup>ドル</sup> /バレル程度
為替レート(インターバンク)	90円/ <sup>ドル</sup> 程度	90円/ <sup>ドル</sup> 程度
原子力設備利用率	58%程度 <sup>(注2)</sup>	53%程度 <sup>(注1)</sup>
出水率	101%程度	100%程度

(注1) 柏崎刈羽原子力発電所については、全7基のうち6号機および7号機の運転計画を織り込み算定したものの。

(注2) 柏崎刈羽原子力発電所については、全7基のうち1号機および6号機・7号機の運転計画を織り込み算定したものの。